

週刊 **タバコの正体**

「もし、予期せぬケガや病気になって、大きな出費が必要になったら・・・」、皆さんは、そんな心配をしたことはないでしょう。しかし、将来自立し限られた収入で生活するようになれば、こんな事も考えておかなければいけません。そこで世間の多くの人は、そんな時のために保険に加入しています。これ

は、日頃定期的に保険料を支払い、万が一の大きな出費をまかなってもらい仕組みです。

健康状態で負担が軽くなる保険の種類

条件	契約時の健康状態	契約後の健診結果
	<p>喫煙の有無、肥満の度合い、 血圧などに応じ割引</p> <p>保険会社例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第一生命</li> <li>SOMPOひまわり生命</li> <li>メットライフ生命</li> </ul>	<p>BMIや血圧などのデータを定期的 に提出。提出の有無や内容の 改善で割引や還付金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>明治安田生命</li> <li>ネオファースト生命</li> </ul>
	<p>健康改善への取り組み</p> <p>歩数などを記録。達成度合いに 応じ還付金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京海上日動あんしん生命</li> </ul>	<p>健診+取り組み</p> <p>運動イベントへの参加や健康 状態など総合的に評価し割引</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住友生命</li> </ul>

日本経済新聞から

その保険料が左図にあるように契約時の健康状態によって安くなるのを知っていますか。その一番目にあげられているのが、喫煙の有無なのです。つまり、タバコを吸っていなければ保険料が安くなるわけで、多くの保険会社が、非喫煙者には割引する種類を用意しています。下の広告は、ある会社の具体例で、「たばこを吸わない人にメリットがある」保険なのです。

いかがでしょうか。タバコを吸い始めなければ、タバコ代はかからないし、保険料も安くなる上、何より病気になる確率も低くなりますが、反対に吸い始めてしまうと、タバコ代+高い保険料+発病リスクがついてきます。

わざわざ吸い始めてはいけませんよね。

産業デザイン科  
奥田 恭久

たばこを吸わないから  
**「たばこを吸わない人にメリットがある」**  
保険が  
あったらいいな。



1年間たばこを吸っていない方は、  
たばこを吸っている方に比べて  
保険料が割り引きされます。

非喫煙者割引特約

※非喫煙者割引特約付加時  
※喫煙状況の確認のため、告知に加えて所定の検査を行い、ネオファースト生命の定める基準を満たしている必要があります。

男性				契約年齢	女性			
非喫煙者割引特約	割引額	保険料	保険料		非喫煙者割引特約	割引額	保険料	保険料
あり	なし	A (円)	B (円)		あり	なし	A (円)	B (円)
●	▲273	8,319	8,592	30歳	●	▲198	8,412	8,610
●	▲486	13,020	13,506	40歳	●	▲306	13,149	13,455

●保険金額:300万円 ●保険料払込期間:60歳払込満了 ●月払  
●上皮内新生物保険特則適用なし